

## 星見ヶ丘区連合会防犯パトロール隊（三重県）

### 活動地域

桑名市の星見ヶ丘区連合会の嶋田と申します。「満天の星空のように子どもたちの安全を見守ります」と題して、平成18年3月から活動を行ってきました防犯活動を紹介させていただきます。

私たちの住んでいる星見ヶ丘地区は、桑名市西部の丘陵地に位置し、西側に鈴鹿山脈を望む緑豊かな住宅専用地区です。近くに東名阪自動車道の桑名インターと桑名東インターがあります。名古屋まで高速バスで30分、名古屋のベッドタウンとなっています。

平成9年に宅地の分譲が始まりました。現在2,100戸、約6,200人が住んでいます。40パーセントはアパート、集合マンション等に住んでおり、平均年齢が47～48歳という若い街です。昼間は留守が多く共働きが多いことから、空き巣等の犯罪が発生しやすい環境にあるといえます。

東西南北に幹線道路が走り、高速のインターが近くにあるので、生活するには大変立地条件の良い所です。その反面、犯罪者にとっては逃げやすいかなと思っています。

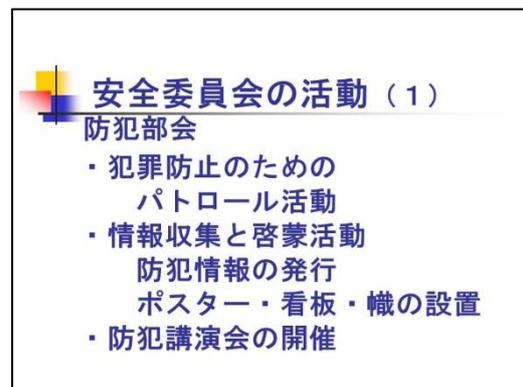
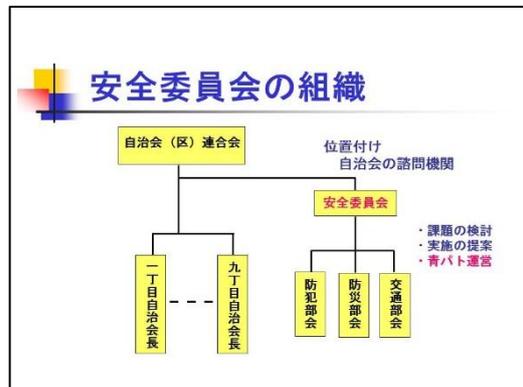


### 団体の概要

私たち防犯パトロールの組織を紹介します。自治会連合会という組織の下に9丁の自治会がございます。1丁目から9丁目、それぞれの丁から代表者が1人ずつ参加し、安全委員会を組織しています。安全委員会の中には、防犯部会、防災部会、交通安全部会の3部会があり、平成18年から活動しています。

防犯部会の活動は、犯罪防止のパトロール、情報収集と啓もう活動が中心です。また、防犯情報の発行、ポスターや立て看板の設置のほか防犯講演会も開催しております。

防災部会では、自主防災訓練、放水訓練、初期消火訓練、また応急手当普及員も地域内におりますので、そういう皆さんを指導員とした救命講習会を行っています。年1回の住民ソフトボール大会では炊き出し訓練もやり



ます。また、防災だよりの発行、消火ホースの設置と取り扱い指導、消火器や火災報知機の購入もしております。交通部会は交通標識・標示やカーブミラーの設置要望、地域住民への交通安全啓発活動、交通安全協会との連携活動等を行っています。

パトロール隊の立ち上げの経緯です。共働きの多く、住居専用で地域内は静かな環境です。皆さんの記憶にもあるかと思いますが、大阪の池田小学校や奈良県の小学児童が痛ましい被害に遭う事件が発生した年でしたが、星見ヶ丘でも、不審者の出没やわいせつ行為が発生するなどの事件が起きました。

このような事件から地域住民の財産、生命を守るにはどうすればよいか自治会やPTAで検討しました。いち早く立ち上がったのが、「お散歩パトロール隊」でした。地域では、平成15年10月から平成16年2月にかけて、44件の車両盗難、車上ねらい、空き巣や不法侵入の被害が発生していました。多い時は1日12件もの空き巣被害が発生。私の家も空き巣に荒らされました。

### パトロール隊の立ち上げ経緯

- ・住居専用で静かな環境
- ・共働きの多い
- ・昼間の留守が多い
- ・不審者の出没やわいせつな行為の発生
- ・大阪や奈良県等で児童が被害にあった痛ましい事件の発生

### お散歩パトロール隊

- ・平成16年から実施、現在は150名が参加
- ・PTA、地域のボランティアで開始



写真は先ほど申し上げたお散歩パトロール隊です。平成16年からPTA、地域のボランティアで開始しました。パトロールの腕章を着け、散歩やジョギングを兼ねて地域を見守ります。

地域内には公園や林があり、不審者情報が多く寄せられた箇所があります。このような地域内の危険がひそんでいる箇所を、「ここがあぶない」とマップに落とし込み、全戸配布しました。

こうした背景から、本格的なパトロール隊を立ち上げようと準備を始め、防犯診断士を招いて勉強会を開きました。ちょうど四日市で青色回転灯パトロール車による組織が認可されたことを聞き、私たちもパトロール車を導入しようと検討しました。

平成17年12月に防犯パトロール隊の立ち上げ準備をスタート。翌年18年2月19日に桑名警察署で講習会を受講し、パトロールの際の注意事項などを教えていただきました。そして18年の3月6日から青色回転灯パトロール車による活動を始めました。初日は当時の水谷桑名市長をお招きし、パトロール隊の出発式を行いました。

青色回転灯パトロール隊は、自治会が中心となり、PTA、老人会、民生児童委員で構成し

### パトロール隊の構成

隊員構成と活動人員 (H25・3.31現在)

- ・自治会、PTA、老人会、民生児童委員

	昼間隊	薄暮隊	夜間隊
回数	月20回程度	月16回程度	3日に1度
時間	下校時	17時～19時	19時～21時
経路	通学路	町内一帯	町内一帯
人員	51	17	116名



ました。昼間隊は、子供たちの下校時に合わせて15時からスタート、月20回程度パトロールします。薄暮隊は老人会が中心で、17時から19時くらいに月16回程度回っていただいています。夜間隊は自治会やボランティアで構成し、19時から21時にかけて地域一帯をパトロールします。

青色回転灯パトロール車の愛称は「あおぼとくん」です。子供たちに付けてもらいました。普段は星見ヶ丘小学校に駐車しており、パトロールは学校からスタートして、学校に戻ってきます。パトロール隊の皆さんのなかには、「星見ヶ丘サンサンチーム」という、昼間隊、PTA主体のお母さんたちのグループもあります。平成23年の10月に警察庁から現役世代の女性チームのパトロールとして支援していただいたチームです。



## 活動の概要



活動例を写真で紹介します。下校時の子供たちを見守る「あおぼとくん」です。

次は、大山田交番のパトカー、生活安全協会のパトカー、それからわれわれの防犯パトカーと、月1回合同でパトロールしています。このときはコンビニで啓発活動をしています。

下は、地域を明るくしようということで、LED防犯灯を設置しました。





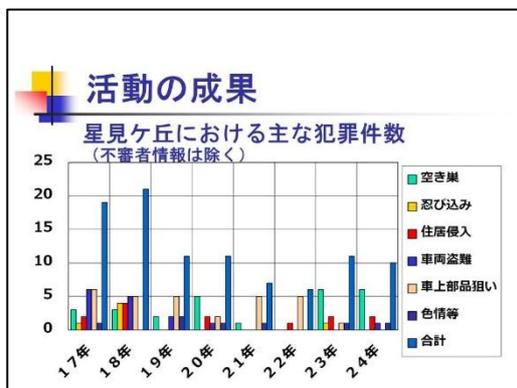
上左は、交通安全協会と連携して朝の交通安全指導をしている様子です。

地域には防犯に関するポスターや立て看板を設置しています。また上右の写真のように、のぼりや旗に、子供たちに募集して選んだ防犯に関する優秀作品を書いて、掲示しています。

活動においては、特に情報の一元化ということに工夫しています。警察や学校との連携においては、情報担当者を定め、現在は自治会長ですが、そこへ情報をすべて集約します。情報担当者は、安全委員長、自治会長に情報を伝え、そこから住民にメールや掲示板等で一括して周知しています。右の写真はその様子です。警察署、あるいは安全協会から届けられた情報を担当者が一元管理し、パソコンでメール配信したり、地域の掲示板に貼りだしたりしています。



## 活動の効果



大山田交番所管内の犯罪件数の推移は、過去3年間では、平成22年27件発生、平成23年28件発生、平成24年25件と毎年30件前後の犯罪が発生しています。

星見ヶ丘における主な犯罪件数の推移をグラフで見ますと、パトロール開始以前の17年、18年は結構犯罪も多かったのですが、パトロールを実施した結果ずいぶん減ってきています。

以上、私たちの活動を紹介しました。まだまだ

だ若いまちではありますが、これからも安全安心なまちづくりということで、頑張っていきたいと考えております。ご清聴ありがとうございました。

## 質疑応答

---

●質問 パトロールを大きく3つに分けているということでしたが、このように分割をしたきっかけ、もしくはこんなことを目指したということがあれば教えていただけますか？

○回答 パトロール隊を立ち上げようと声を掛けたら、たくさんの応募が集まったということで、現在は184人のパトロールの隊員がおります。この人数をうまく分散させて、効率よく回ろうということで分けました。